

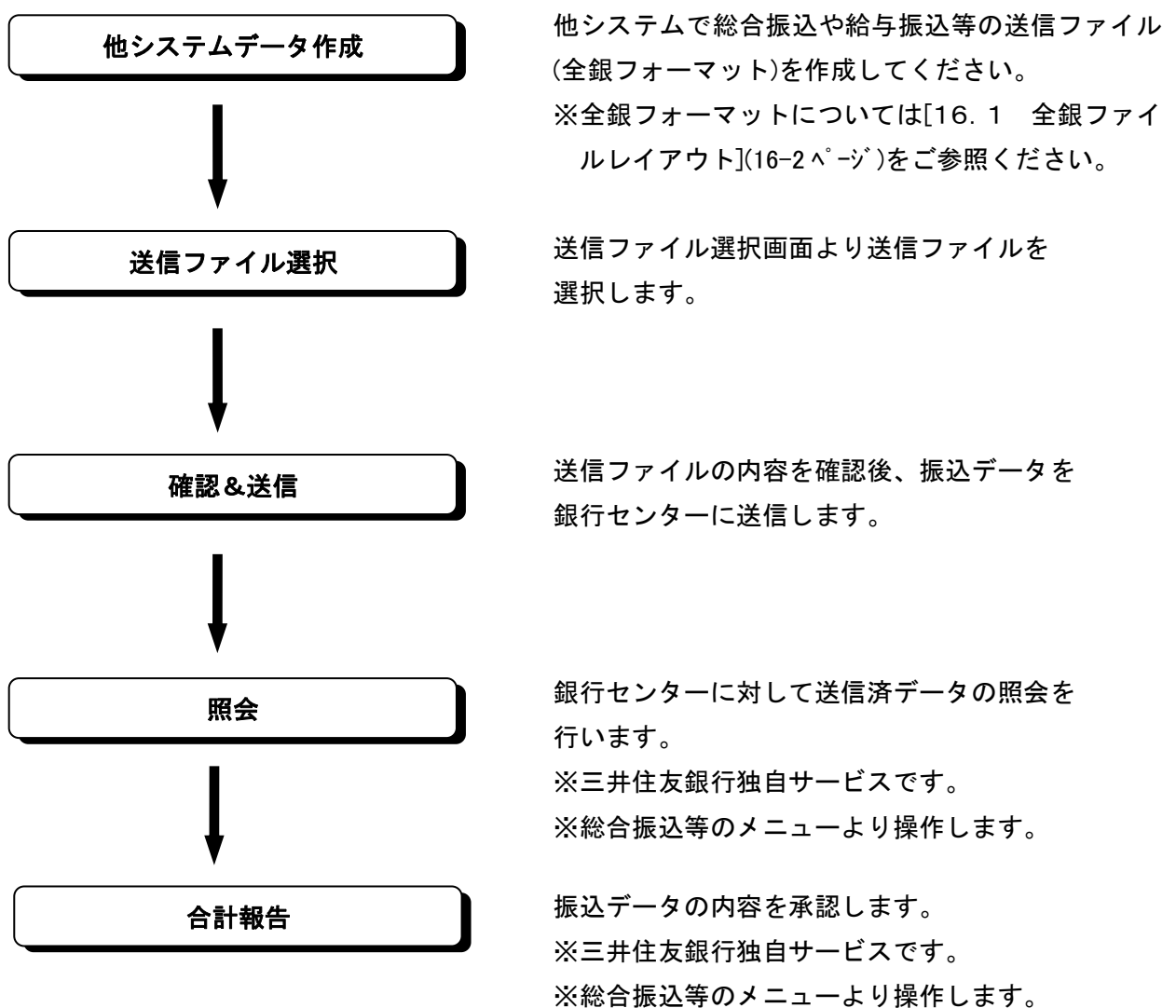
9. 他システム作成データ送信

9. 1 サービスの概要

本サービス以外で作成した総合振込や給与振込等のデータを、銀行センターに送信することができます。

9. 2 他システム作成データ送信

1 操作の流れ



2 通常の操作手順

旧さくら銀行時代に個人地方税納付サービスの契約があるお客さまはメインメニューの「口座情報・運用環境登録」から『オプション機能設定』画面を開き、「個人地方税納付サービス（さくらフォーマット）」を“あり”設定してください。

※設定方法につきましては「6. 4 オプション機能設定」（6-15ページ）をご参照ください。

2-1 送信ファイルの選択

<メインメニュー>



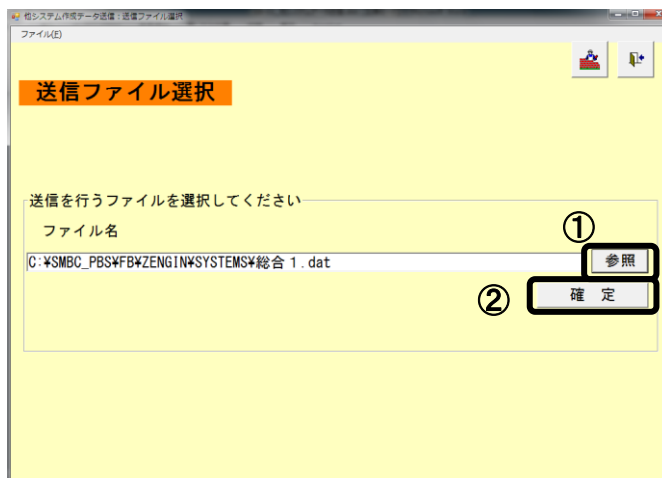
(1) メインメニューから「その他サービス」を選択してください。

<その他サービスサブメニュー>



(2) その他サービスサブメニューより「他システム作成データ送信」を選択してください。

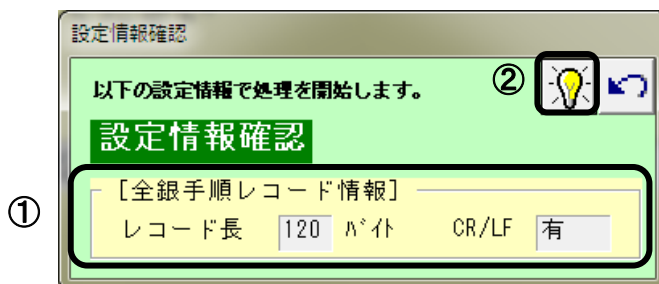
<送信ファイル選択>



(3) 送信ファイル選択画面が表示されます。

- ①送信を行うファイル名を参照ボタンより選択し開くボタンを押してください。
- ②確定ボタンを押してください。

<設定情報確認>



(4) 設定情報確認画面が表示されます。

- ①全銀手順レコード情報を確認してください。
- ②確定ボタンを押してください。

※ 確認メッセージ表示後、再度『設定情報確認』画面が表示される場合、「レコード長」「CR/LF(改行キー)の有無」を確認する必要があります。

⇒ [3-1 設定情報確認] (9-6ページ) を参照してください。

※ 送信ファイルの内容により送信先銀行センターが自動認識されない場合、『通信情報選択一覧』画面が表示されることがあります。

⇒ [3-2 通信情報選択] (9-6ページ) を参照してください。

※ [6.4 オプション機能設定] (6-15ページ) で「個人地方税納付サービス(さくらフォーマット)」を“あり”に設定してある場合で、「個人地方税」または「口座振替請求」データを指定した場合『サービス選択』画面が表示されることがあります。

⇒ [3-3 サービス選択] (9-7ページ) を参照してください。

2-2 送信ファイルの内容確認&送信

<確認&送信>

(1) 確認&送信画面が表示されます。

①通信暗証／送信暗証を入力してください。
※銀行に事前にお届けいただいた 6 桁固定の暗証番号です。

※暗証番号につきましては「14. 暗証番号体系図」をご参照ください。

②サイクルコードを入力してください。
※同一会社コード／同一送信日／同一振込指定日で 2 回以上送信する場合は、送信毎にサイクルコードの数値を上げてご利用ください。

③通信開始ボタンを押してください。

<通信処理関係>

(2) 「ホストコンピュータに照会依頼します。続行しますか。」と表示されます。

はいボタンを押してください。

以上で振込データの送信が完了しました。

引き続き『送信結果の照会』や『合計報告』を行う場合は、「メインメニュー」の各サービス画面によりご操作ください。

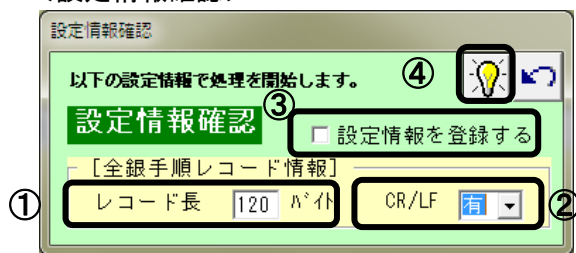
3 その他の操作

3-1 設定情報確認

送信ファイルが以下のフォーマット以外の場合、『設定情報確認』画面が表示されます。

	レコード長	CR/LF	EOF
総合振込	120	有	有
給与／賞与振込	120	有	有
口座振替請求	120	有	有
個人地方税	120	有	有
法人地方税（都道府県民・事業税）	250	有	有
法人地方税（市町村民税）	200	有	有

<設定情報確認>

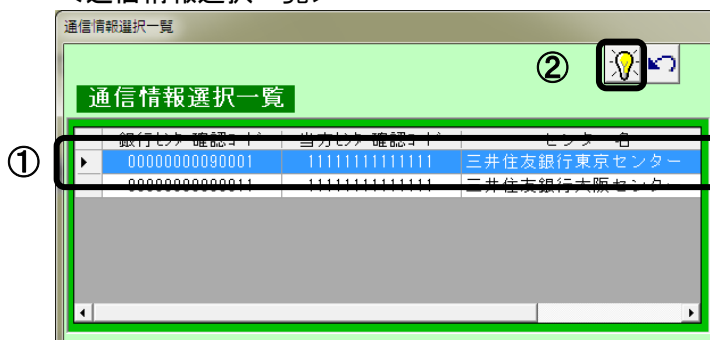


- ①レコード長を指定してください。
- ②CR/LF(改行コード)の有無を選択してください。
- ③設定情報を保存する場合、「設定情報を登録する」のチェックボックスにチェックを入れてください。登録した設定情報は『設定情報一覧』画面に反映されます。
⇒[3-4 設定情報一覧]（9-7 ページ）を参照してください。
- ④**確定**ボタンを押してください。

3-2 通信情報選択

送信先銀行センターまたは当方センター確認コードが特定できない場合は、『通信情報選択一覧』画面が表示されます。

<通信情報選択一覧>



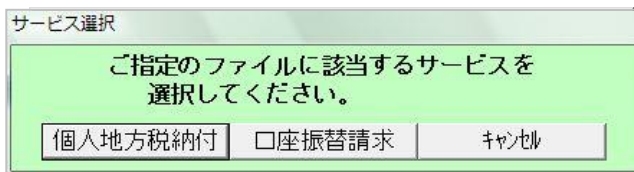
- ①該当する銀行センターを選択してください。
- ②**確定**ボタンを押してください。

※該当する銀行センターが存在しない場合は、銀行センターの設定が別途必要です。

3-3 サービス選択

[6. 4 オプション機能設定] (6-15ページ) で「個人地方税納付サービス（さくらフォーマット）」を“あり”に設定してある場合で、「個人地方税納付」または「口座振替請求」のファイルを指定した場合は、『サービス選択』画面が表示されます。

<サービス選択>

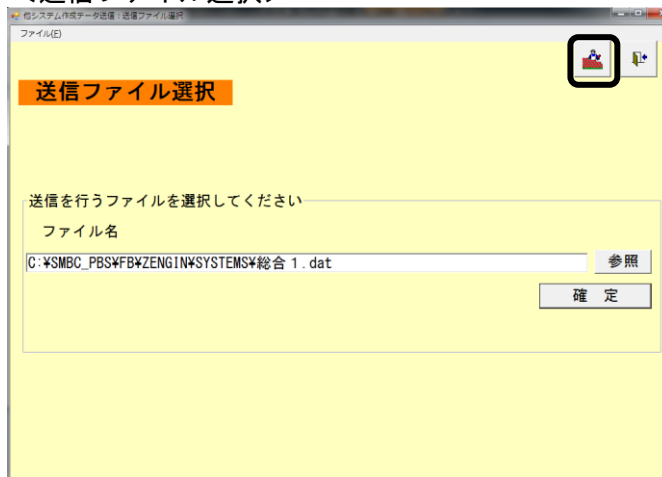


指定したファイルに該当するサービスのボタンを押してください。

3-4 設定情報一覧

他システム作成データ送信で[設定情報表示]ボタンを押すと『設定情報一覧』画面が表示されます。『設定情報一覧』画面では、種別に応じたレコード長、CR/LF有無、EOFの有無の確認と変更ができます。

<送信ファイル選択>



(1) 送信ファイル選択画面より

[設定情報表示]ボタンを押してください。

<設定情報一覧（TEXT形式）>

種別コード	データ種別	レコード長	改行	EOF
11	給与振込	120	○	○
12	給与振込	120	○	○
21	給与振込	120	○	○
24	一括支払	120	○	○
91	口座振替請求	120	○	○
99	個人地方税 (旧さくらフォーマット)	120	○	○
77	個人地方税	120	○	○
77	法人都市町村民税 (旧)	200	○	○
77	法人都市町村民税	200	○	○
78	法人都市町村民税	250	○	○

設定情報
 種別コード 11 データ種別 給与振込
 レコード長 120 改行 あり EOF あり

(2) 設定情報一覧画面が表示されます。

① 変更するデータ種別を選択してください。

② **変更** ボタンを押してください。

● 改行またはEOFを「あり」と設定している場合→○印が表示されます。

● 改行またはEOFを「なし」と設定している場合→空白が表示されます。

<設定情報変更>

設定情報変更
設定情報変更
 設定情報
 種別コード 21
 データ種別 総合振込
 ① レコード長 120
 改行 ☒ あり ☐ なし
 EOF ☒ あり ☐ なし
 ② **保存**

(3) 設定情報変更画面が表示されます。

① データ種別に応じたレコード長／改行の有無／EOFの有無を設定してください。

② **保存** ボタンを押してください。

<設定情報一覧（TEXT形式）>

種別コード	データ種別	レコード長	改行	EOF
11	給与振込	120	○	○
12	給与振込	120	○	○
21	給与振込	120	○	○
24	一括支払	120	○	○
91	口座振替請求	120	○	○
99	個人地方税 (旧さくらフォーマット)	120	○	○
77	個人地方税	120	○	○
77	法人都市町村民税 (旧)	200	○	○
77	法人都市町村民税	200	○	○
78	法人都市町村民税	250	○	○

設定情報
 種別コード 11 データ種別 給与振込
 レコード長 120 改行 あり EOF あり

(4) 設定情報一覧画面に戻ります。

① 引き続き設定する場合は、**変更** ボタンを押してください。

② 変更を終了する場合は、**閉じる** ボタンを押してください。